



知って得する、ちょっと差がつく トリビア・コーナー

トリビア研究家 末崎 孝幸

末崎 孝幸氏

1945年生まれ。1968年一橋大学商学部卒業、同年日興証券入社。調査部門、資産運用部門などを経て、日興アセットマネジメント執行役員(調査本部長)を務める。2004年に退職。Facebook上での氏のトリビア投稿は好評を博している。



グーグル(Google)の由来

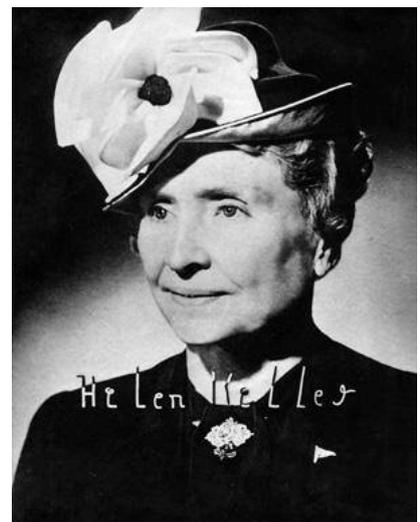
グーグルの社名は10の100乗を意味するgoogol(グーゴル)に由来している。World Wide Web上の膨大な情報の組織化が会社の使命を意図しているとの考え方だ。

「Googol」ではなく「Google」になったのは、1997年に創業者のラリー・ページたちが新しい検索エンジンの名前を考えてドメイン名として登録した際、本来は「googol.com」とすべきところを「google.com」と綴りまちがえたのがその起源と言われている。

ヘレン・ケラーと塙保己一

三重苦の障害を克服し、「奇跡の人」と称されるヘレン・ケラー。彼女は重度の障害を持ちながらも世界の障害者教育や平和活動に貢献した偉人として知られている。そのヘレン・ケラーは昭和12年、23年、30年と3回も来日している。

その最初に来日した昭和12年4月に講演した時、彼女は次のように語っている。「私が幼い時のことです。母は私に『塙保己一先生はあなたの人生の目標になる方ですよ』とよく話してくれました。日本には幼くして目がまったく見えなくなってしまったのに、





長期投資仲間通信「インベストライフ」

努力して立派な学者になった塙先生という方がいたと教えられました。それを聞いて、私は励まされて一所懸命勉強しました(塚正一著「塙保己一とともに」)。そして保己一の生地である埼玉県を訪れた時には「私は日本に行ったら必ず埼玉を訪問したいと長い間思っていました。その夢が今日かないました。私が人生の目標とし、苦しく、辛く、くじけそうになった時に心の支えとした人が、この埼玉ゆかりの人物、塙保己一先生です」と語っている。

塙保己一は、江戸中期に現在の埼玉県本庄市に生まれた国学者。7歳で病気のため失明したものの、学問への思い捨てがたく15歳で江戸に出る。苦労を重ねながらも多くの先人から教えを受けた。そして国学の大家・賀茂真淵にも師事する機会を得たのである(真淵晩年のわずか半年だけではあったが)。保己一は目が見えないので書物を読んでもらい、それを記憶していったのである。

そして「神皇正統記」などの貴重な古書の散逸を危惧し、これらを収集、編纂して残すことを決意する。40年の歳月をかけ、74歳の時に666冊にわたる一大叢書「群書類従」の編纂を完成させるという途方もない大事業を成し遂げるのである。塙保己一は戦前の修身の教科書には必ず取り上げられていた人物だが、現在の義務教育では教えられていないようだ。教育現場で是非とも取り上げ、ヘレン・ケラーが私淑していた人物としても再評価すべきだと思う。

なぜ日本に「山田耕柞記念館」がないのか

山田耕柞といえば、誰もが知っている「赤とんぼ」「この道」「からたちの花」「待ちぼうけ」など、童謡、唱歌の作曲家であり、また、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団やレニングラード・フィルハーモニー交響楽団等を指揮するなど、国際的にも活動、世界的に名を知られた最初の日本人音楽家でもある。しかし、彼の記念館はどこにもない。

瀧廉太郎、中山晋平、北原白秋、サトウハチローなどの記念館は彼らのゆかりの地などにある。記念館がないのは山田が「燃ゆる大空」など多くの軍歌を作曲したためだろうか。しかし、古関祐而は山田以上の軍歌作曲者だが、「古関祐而記念館」は福島市にある(古関は福島市名誉市民第1号でもある)。実は戦後、音楽評論家・山根銀二との間に山田の戦時中の行動に対し「戦犯論争」が勃発し、その後も山田を戦犯扱いする人物が出てきたためだと思われる。

山田は確かに戦意高揚に協力した面はあったかもしれないが、見方を変えれば祖国を思う国民としてのことであり、それほど強く批判されることではないと思う。山田の出身地である都内(文京区)に彼の記念館を設立することを東京都に検討していただきたいものである。



急がば回れ(の語源)

「急がば回れ」ということわざ、実は室町時代の連歌師・宗長が詠んだ「武士(もののふ)の矢橋の舟は早くとも 急がば廻れ 瀬田の長橋」という歌に由来している。「矢橋の舟」は矢橋の渡しを意味する。矢橋の渡しとは、東海道五十三次草津宿～大津宿を結んだ湖上運送であり、「瀬田の長橋」は「瀬田の唐橋」のことだ。



当時、京都に行くには矢橋から琵琶湖を横断する海路の方が瀬田の唐橋経由の陸路より近くて速いのだが、(瀬田まで南下すれば)比叡山から吹き下ろされる風による影響を受けずに唐橋を渡ることができることから、こうした歌が詠まれたのである。

「亡命」はどうしてこんな字なのか？

「命」を「亡くす」と書いて「亡命」。亡命は政治上の理由で本国を抜け出し他国に逃亡するという意味だが、どうしてこんな字を書くのだろうか？

この場合の「亡」は困いを隠すさまを示す文字であり、「あったものが姿を消す」という意味。また「命」は生命ではなく「戸籍」を意味する。戸籍から抜け、姿を消すから「亡命」である。